西海岸開発事業について

西海岸開発事業について

西海岸開発事業は、昭和49年の伊奈武瀬地区に始まり、浦添市クリーンセンターや浦添市リサイクルプラザ、沖縄県中央卸売市場、いなんせ斎苑等の公益施設のほか、西洲地区には沖縄県卸売商業団地が形成されるなど、県経済の拠点として広く利用されています。

今後の浦添ふ頭地区内における現行計画においては、第一ステージ（都市機能用地・臨港道路・港湾緑地など）、第二ステージ（コースタルリゾート地区：交流厚生用地・海洋緑地・人工ビーチ・マリーナ等）および第三ステージ（ふ頭・港湾関連用地など）に分け、段階的に整備する予定となっています（それぞれの区域については下記の港湾計画図をご参照ください）。

第一ステージについては平成22年12月に埋立が竣功したことから、その埋立地における上下水道工事などの基盤整備と都市機能用地（約8．55ヘクタール）の企業への売却に向けた作業を進めている状況であり、9月から公募を開始しています。

当該地区に企業を誘致し、大規模な観光型商業交流施設やアーバンリゾートホテルの立地により、雇用約3400人、経済効果約255億円が見込まれ、本市の自立的発展、更には県経済の発展に大きく寄与することが期待されます。

また、臨港道路浦添線および沖縄西海岸道路などの整備が平成28年度に完成し、平成29年4月には供用開始する予定となっており、その開通に伴い、国道58号等の慢性的な渋滞緩和が図られます。

第二ステージ（コースタルリゾート地区）の現行計画について

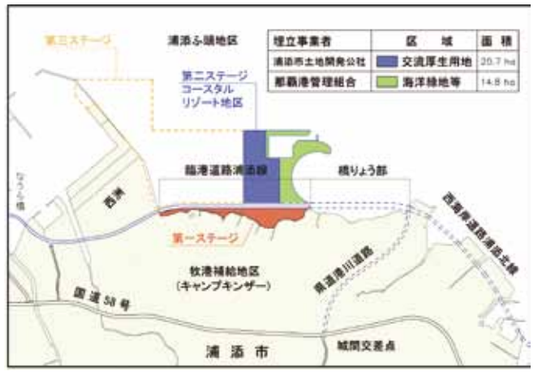
本市西海岸開発第二ステージのコースタルリゾート地区は、都市近郊型海浜リゾートを展開するための用地造成を目的としたものです。交流厚生用地を浦添市土地開発公社が、マリーナおよび海洋緑地などを那覇港管理組合がそれぞれ事業主体として整備する計画となっています。

交流厚生用地は国際観光交流拠点を目指したリゾートホテル、商業施設、コンベンション施設などの整備、また、マリーナや人工ビーチを含んだ海洋緑地は多様な海洋レクリエーション施設の整備を計画しています。

この計画は、本市や沖縄県の経済振興などに寄与する新たな都市空間づくりを進めるものです。

西海岸開発事業の現行計画に関するご意見・ご要望は西海岸開発課まで。

港湾計画図



（第二ステージ現行計画　イメージ図）

（第二ステージ現行計画　イメージ図）

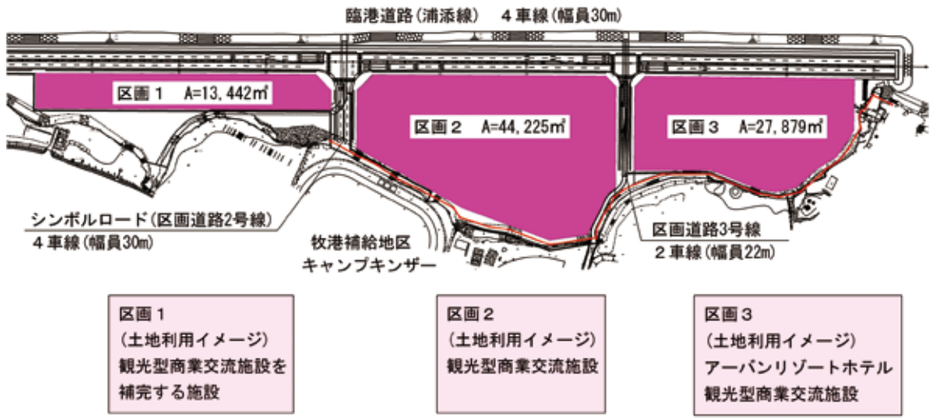
問い合わせ　西海岸開発課
☎876－1234（内線2713）

第一ステージ
都市機能用地売却に係る公募始まる

（第一ステージ　海側から望むイメージ図）

地区名	面　積	導入機能	土地利用の方向性
西洲三丁目	約8.55ha	商業 レクリエーション ホテル	一体的な土地利用によって海を望む景観や自然海浜をいかし、県内のみではなく国内外からの誘客を図ることができるこれまでの沖縄観光にはない新たな付加価値をもつアーバンリゾートの形成を目指す。

※一体的な土地利用を計画しているため、三区画一体での売却となります。



公募スケジュール

No.	項　目	日　程
1	公募要項の配布	平成25年9月18日～平成25年12月12日
2	応募登録受付	平成25年9月24日～平成25年12月19日
3	応募資格審査および結果通知	平成25年9月24日～平成25年12月26日
4	提案書受付	平成25年11月18日～平成26年　3月13日
5	提案書審査（ヒアリング）	平成26年3月下旬　～平成26年　4月下旬
6	事業予定者の決定	平成26年4月下旬　～平成26年　5月下旬

※公募に関する詳しい内容は、浦添市土地開発公社ホームページをご覧ください。
http://www.city.urasoe.lg.jp/totikaihatu/